2026年11月12日

各 位

会社名　イメージ情報開発株式会社
代表者名　代表取締役社長　半田 基実
（コード：3803、グロース市場）
問合せ先　取締役副社長 経営管理部長　中川 祐輝
https://image-inf.co.jp/contact/

2027年３月期通期連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、2026年５月14日に公表いたしました「2026年３月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2027年３月期(2026年４月１日～2027年３月31日)の通期連結業績予想につきまして、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2027年3月期通期連結業績予想数値(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回発表予想(B)	678	0	18	33	10.04
増減額(B－A)	－	－	－	－	－
増減率(%)	－	－	－	－	－
(ご参考)前期実績(2026年３月期)	731	△175	△195	△259	△119.39

(注１)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
(注２)１株当たり当期純利益は、期中平均株式数3,317,731株により算定しております。

2. 業績予想公表の理由

当社グループは、サイブリッジグループとの資本業務提携による事業構造改革を進めており、その一環としてM&Aを計画しておりました。買収先の事業規模によっては連結業績が大きく変動し、経営成績を正確に見込むことが難しい状況であったことから、2027年３月期の連結業績予想を未定としておりました。

2026年６月に発足した新経営体制のもとで、当社は、事業の選択と集中(2026年３月31日付での連結子会社３社の株式譲渡、及び2026年８月１日付での完全子会社イメージ情報システム株式会社の吸

収合併）並びに人事制度改革を含むコスト構造改革を実行してまいりました。

また、2026年10月１日付で株式会社ディグロスが営むCRM支援事業を譲り受け、2026年10月23日付で株式会社クラッド大分（2026年11月12日付でIID大分株式会社に商号変更。以下「IID大分」といいます。）の全株式を取得して連結子会社化いたしました。これにより、当期の業績予想を未定とする要因であったM&Aの主要案件が完了し、連結の範囲及び取得事業の業績の取込期間が確定いたしました。

以上を踏まえ、本日公表の「2027年３月期 第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）」の実績値をもとに、現時点で入手可能な情報に基づき通期の連結業績予想を合理的に算定することが可能となったと判断し、公表するものです。

3．業績予想の概要

（1）売上高

下期より、株式会社ディグロスから譲り受けたCRM支援事業及びIID大分の業績（2026年10月から2027年３月までの６か月間）が加わるものの、2026年３月31日付で連結子会社３社を連結の範囲から除外した影響により、売上高は678百万円（前期比7.3％減）となる見込みです。

（2）営業利益・経常利益

新経営体制のもとで進めてまいりましたコスト構造改革の効果を通期で反映することに加え、取得事業の利益を下期より取り込むことにより、営業利益は０百万円（前期は営業損失175百万円）、経常利益は18百万円（前期は経常損失195百万円）となり、前期に比べて大幅に改善する見込みです。なお、下期（2026年10月～2027年３月）は営業利益を確保する見込みです。

（3）親会社株主に帰属する当期純利益

2026年10月26日付「特別利益（投資有価証券売却益）の計上に関するお知らせ」で公表いたしました投資有価証券売却益11百万円（2027年３月期第３四半期連結会計期間に計上）を含め、当期に計上した特別利益及び特別損失を織り込み、親会社株主に帰属する当期純利益は33百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失259百万円）となる見込みです。

4．業績予想の前提条件

（1）本業績予想は、2026年９月30日までの実績値、及び2026年10月28日時点における2026年10月以降の当社グループの見込みに基づき算定しております。

（2）連結の範囲は、当社及び連結子会社１社（IID大分）です。IID大分の決算日は12月31日であるため、当社の決算日に実施する仮決算に基づく財務諸表を使用し、2026年10月から2027年３月までの６か月間の業績を取り込んでおります。

（3）株式会社ディグロスからのCRM支援事業の譲受け及びIID大分の株式取得に伴い発生するのれんは、取得原価の配分が完了していないため暫定的に算定した金額に基づき償却額を算定しております。取得原価の配分の結果により、のれんの金額及び償却額は変動する可能性があります。

（4）本日時点で契約締結に至っていないM&A案件の影響は、本業績予想に含めておりません。

5. 今後の見通し

当社は、2026年９月30日に公表いたしました中期経営計画「プロジェクト イマージュ」において、2027年 3 月期を構造改革の仕上げの年と位置づけております。今後、新たなM＆Aの実行等により業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上